

特集 Yaita Mirai 議会

～ 未来をより良いものに～



市が主催する市制施行 60 周年記念事業の一環で、「Yaita Mirai 議会」が 1 月 20 日（日）に開催されました。この「Yaita Mirai 議会」は、市内中学校の生徒たちが議員として、市の政策的な取り組みや議会の仕組みを学ぶこと、そして、地域の課題やその解決策を探る自発的な活動を通じて、矢板市民としての自覚やまちづくりへの関心を高めることを目的に行われたものです。

市議会と同じ流れで行う「Yaita Mirai 議会」を迎えるために、生徒たちは事前の議会傍聴や、総合計画にあるまちづくりの重点計画ごとにグループを作り、市執行部に対する質問を作成するため、延べ 2 日間にわたり研修や話し合いを行いました。生徒たちは、議場という独特の雰囲気漂う場所にも関わらず、素直で夢のある意見を胸を張って堂々と述べました。

今号では、議会本番を迎えるまでの活動の様子や矢板の未来をより良いものにするために生徒たちが考えた意見を紹介します。



矢板の Mirai を想っ てみんな で考えま した。

【暮らしの安心】チーム名：安心安全班

すべての市民が心豊かに安心して日々の暮らしを送るためには、「健康の増進」「子育て環境の充実」「高齢者支援」「医療環境の充実」、「相互扶助につながる地域活動の支援」、「防災・防犯機能の充実」な

ど、多岐にわたる施策が必要だと感じました。質問で提案したことが1つでも多く実現され、市民が安心して暮らせるまちづくりにつながればうれしいです。



【市民力の向上】チーム名：市民力アップ隊

市民が主体・主役のまちづくりを進めるため、市民力の向上を目的に質問を作成しました。

子どもでも参加できるボランティアの仕組みづくり、まちづくりを進めるための人材育成、「クラウドファン

ディング」を活用した市民によるまちづくり活動の支援、市のPRを市民が主体的に協力しあいながら行うことなど、市民1人ひとりが意識してまちづくりを行うための支援のきっかけになったら良いと思います。



【交通機能の拡充】チーム名：通勤通学楽にし隊

JR 宇都宮線の矢板駅・片岡駅、東北自動車道のインターチェンジ、国道4号など広域幹線の公共交通機能が充実し、県北部の交通交流拠点として、これらの利便性向上を図ることは重要です。しかし、

矢板で生活する私たちにとって、段差が少なく、自転車でも安心して通ることができる道路の整備や高齢者の足となる市営バスの利便性向上など、身近な交通機能の充実も大切だと思います。



【教育の尊重】チーム名：矢板市教育委員会 JUNIOR

総合計画に書かれている「次世代を担う子どもたちが、ふるさとを愛し周囲の人や自然環境を思いやる心と、自ら考え行動できる力を身につける」を自ら体現するため、今学生として感じている課題を解

決する提案を行いました。全国平均を下回っている体力の向上や英語教育の充実、施設の安全確保、エアコンの設置による学習環境の整備など、こうあってほしいという思いを質問しようと思います。



【産業の活性化】チーム名：やいたブランド班

高原山をはじめ豊かな自然環境や、その環境が育む豊富な農林産物など、恵まれた「資源」が矢板にはあります。その「資源」の恵みである、やいたブランドの振興策として、ふるさと納税の返礼品にしたり、

海外販路を開拓したりする取り組みのほか、イベントのPRを効果的に行うことや空き地・空き家に商業施設を誘致するなど、特色ある取り組みを積極的に行うことが市内の産業活性化につながると考えました。



私たちの提案、検討して真剣にくれませんか？

ペットボトルのリサイクルを推進するため、回収ボックスの増設を
矢板中2年 更科虎丸 議員

やいたブランドの振興を図るため、海外への販路拡大を
矢東附中2年 大和田莉典 議員

高齢者見守り訪問の登録申請の条件緩和を
泉中1年 津久井桃子 議員

市民全員が協力してまちづくりに参加できる仕組みづくり
片岡中2年 柿沼寛家 議員

学力を高めるため、学習環境設備を充実させる取り組みを
矢板中2年 小倉誠佳 議員

広域幹線道路の利便性を向上させ、日常的な渋滞解消を
矢板中2年 松田稜哉 議員

やいたブランドの振興を図るため、ふるさと納税返礼品として活用を
矢東附中2年 河野遼健 議員

ともなり文芸祭りへの市民参加を促すために
泉中2年 和氣誠朗 議員

人口増加・活性化につながる、市内全域のバリアフリー化推進を
片岡中2年 沼野雅奈 議員

空き地・空き家を利用した商業施設の誘致について
片岡中2年 笹沼春南 議員

「クリーン矢板 everyday」きれいな街のイメージ戦略
矢板中2年 宮下慧六 議員

小中学校教育の充実のため、読書活動の推進を
片岡中2年 松本匠真 議員

子どもが活動できるボランティア団体の育成・支援
矢板中2年 二渡大愛 議員

市営バスの利便性を向上させるため「デマンドバス」の導入検討を
矢板中2年 関本椋介 議員

イベント集客を図るため、効果的なPR方法の検討を
片岡中2年 小曾戸彩乃 議員

集中力を高め、学力向上につながるエアコン設置を早急に
泉中2年 大山莉奈 議員

「クラウドファンディング」を活用して、市民主体の街づくりを
矢東附中2年 石塚泰大 議員

矢板の良さを知ってもらい、魅力的なPR動画の活用
矢板中2年 長谷川拓光 議員

児童生徒の体力向上を目指し、10分間活動の導入検討を
泉中2年 平間啓介 議員

スクールガードへの参加者を確保する取り組み強化
矢東附中2年 長谷川果南 議員

小中学校のALT増員で外国語活動の活性化を図る
矢板中2年 鈴木麗乃 議員

自転車専用通行帯を設置し、自転車のまちをアピール
泉中1年 渡邊魁 議員

コンビニエンスストアにAED設置を/高齢者の健康づくり推進を
矢東附中2年 赤塚妃莉 議員

通学路の安全確保を図るため、道の拡幅や歩道の設置を
片岡中2年 渡邊ゆうき 議員

実現に向けて調査研究をします！

「Yaita Mirai 議会」の中で、皆さんが時間をかけて一生懸命考えた提案に対し、私たち市執行部は誠心誠意、市役所内で十分な検討を行い、本気で答弁をさせていただきました。全てのご提案に対しYESとは言えませんでした、皆さんの矢板を想う気持ちは十分に伝わってきました。
いただいた提案を1つでも多く実現できるよう努めたいと思います。
「Yaita Mirai 議会」で感じたことや学んだことを通して、将来、ふるさとである矢板市のことを考えて行動してくれる立派な人になってくれることを期待しています。

矢板市長 齋藤 淳一郎

これからの学校生活に、この経験を活かして！

中学生議員の皆さんが、今回、初めての経験であると考えたと、議長役も質問者もその堂々たる態度で、しっかりとした口調は、さすが各中学校を代表した生徒の皆さんであると感心しました。
質問内容も的確で、自分の意見を持ち具体的な提案をしているもの、将来の矢板市を見据えて提案するものなど、バラエティに富んでおり、素晴らしいものになっていったと思います。
今後、学校や日常生活などで疑問に思うことや課題と考えることについて話し合ったり、活動したりして、今回の経験を十分に活かして欲しいと思います。

矢板市教育委員会教育長 村上 雅之

Yaitaのaiを守り、より良い未来を築きたい！

私は今回、議長も務めさせていただきました。私に務まるのか最初は少し不安で、とても緊張しましたが、グループのみんなやYaita Mirai議会担当の方々、先生方のアドバイスのおかげで、無事務めることができました。とても感謝しています。そして、齋藤淳一郎市長をはじめ、たくさんの方々にお世話になりました。

私は今回、「矢板市に足りないものは何か」を私なりに慎重に考え教育の尊重というテーマの中の「矢板市の小中学校のALTの増員について」という質問をしました。そして、村上雅之教育長にご回答いただきました。村上雅之教育長はどの質問にも1つ1つ丁寧に回答してくださいました。矢板市のALTの体制については小学校の教科化を見据えて、子

どもたちの英語環境の充実も十分に図られていて、万全な状態なので問題ないとのことで、私も安心しました。

私は今回、矢板市の未来の教育を守るためにはもっとこうすべき、などと対策を自分で考え、発言することができたので自分自身少し成長したと感じました。こうして自分の考えを公表することはめったにないので、貴重な体験ができてとてもうれしく思っています。

これからも、こうした機会があったらまた参加したいと思います。そしてこれからもYaitaのaiを子どもたちで守り、よりよい未来を築いていきたいです。

矢板中学校2年
鈴木 麗乃さん

私たちにできることを取り組んでいきたい！

私は、矢板市は人気がなく発展が遅いという悪い印象がありました。本番までに研修会が2回ありました。1日が長く原稿を考えてパソコンで打つのが大変でした。

また、人前で発表するのが苦手なので思いを正しく伝えられるか不安でした。

しかし、本番で私たちの考えを発表すると、市長はとうとう実現させようとして一生懸命考えてくれていることが分かりました。答えに対して私の方も変わらなくてはいけないなど思いました。

私たちの意見の中にはボランティア活動やともなひ文芸祭りなど私自

身ができることがいくつかありました。これからの矢板市を創っていく私たちができることは、少しずつ取り組んでいこうと思います。

矢板市長、教育長をはじめ議会に関わっていただいた多くの方々、このような場を設けてくださり本当にありがとうございました。

学校ではクラスの友達とYaita Mirai議会のことについて話しました。「エアコンの設置」の話になると盛り上がりました。今年の夏がとても楽しみです。

片岡中学校2年
笹沼 春南さん

この経験が、私のMiraiの役に立つ

将来、誰かの役に立てるような人になりたい！

僕は、このYaita Mirai議会に参加して気付いたことがたくさんありました。

まず1つ目は、議会という場で話すことの難しさです。僕が発表した質問文は作文用紙1枚半にも満たないくらい短いものでした。それでも、作るのに多くの時間を割きました。しかも、完成したと思っても、内容が薄かったり、提案が具体的ではなかったりして、何度も質問内容を検討しました。そして、やっとできた質問も数分で終わってしまいます。議会で話すということは、市民の代表として話をするということで、その難しさが分かりました。

2つ目は、自分の意見で世の中を動かすことの楽しさです。自分が生まれ育ったこの矢板市がもっと良く

なるようにと考え、調べ、考察することは本当に楽しいことでした。また、僕は「ともなひ文芸祭り」についての提案をしたのですが、それが近い将来実行され、今よりも良い「ともなひ文芸祭り」になっていたらうれしいですし、僕にとっても、とても良い経験になると思います。

議会に参加し、未来のことについて話すことは、人生で一度できるかどうかの貴重な経験なので、このYaita Mirai議会に参加できて良かったと思っています。ここで学んだことは、将来、社会生活を営むうえで、きっと活かされると思います。誰かの役に立てるようにしたいです。

泉中学校2年
和氣 誠朗さん

大人になっても矢板を好きでいたい！

私は今まで矢板市のことや市役所のことをあまり知りませんでした。矢板市をより良くするにはどうしたら良いか、と真面目に考えたのも初めてです。

1回目の研修では、「きちんとした質問や提案ができるのかな」と思ったりもしました。しかし、市役所の方や学校の先生などのアドバイスでより具体的な提案を作ることができました。

私は「やいたブランドの振興について」というテーマを設定しました。やいたブランドのことや、物をどうやって売るか、成功している市町村はどのようなことをしているのかなど、今まで知らなかったことを深く調べて考える良い機会になりました。

本番は、やはり緊張しました。議場に入るのも初めてで、矢板市役所にこんな立派なところがあったんだなと思いました。

たくさんの市役所の方々が議会に出席し、私たちの質問や提案に真剣に答えてくださいました。私の提案にも市長が丁寧に答えてくださり、矢板市が行っているやいたブランド振興への取り組みや現状など、さらに詳しく知ることができました。

Yaita Mirai議会は私にとってとても良い経験になりました。これからもっと矢板市に貢献して、大人になっても矢板市を好きでいたいです。

矢板東高校附属中学校2年
大和田 莉央さん